

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 東大

上場会社名 シスメックス株式会社  
コード番号 6869 URL <http://www.sysmex.co.jp>代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日(氏名) 家次 恒  
(氏名) 釜尾 幸俊  
配当支払開始予定日TEL 078-265-0500  
平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	55,743	△1.3	7,138	3.0	7,026	3.4	4,317	22.4
21年3月期第2四半期	56,497	—	6,927	—	6,794	—	3,526	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	84.39		84.28	
21年3月期第2四半期	68.98		68.83	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	118,377		82,775	69.3	1,602.25			
21年3月期	118,521		79,850	66.8	1,548.19			

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 81,987百万円 21年3月期 79,182百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年3月期	—	24.00	—	26.00	50.00	
22年3月期	—	25.00				
22年3月期(予想)			—	25.00	50.00	

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	117,000	4.6	15,000	△0.9	15,000	15.5	9,200	14.8	179.81	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	51,268,308株	21年3月期	51,243,508株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	98,431株	21年3月期	97,981株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	51,161,343株	21年3月期第2四半期	51,122,559株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大幅に異なる結果となる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予測に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然雇用情勢は厳しいものの、昨年来の経済危機に対する国内外の景気刺激策が奏功し、企業業績に回復の兆しが見え始めてきました。また、欧米でも雇用情勢が深刻化していますが、金融危機が最悪期を脱し、企業収益も徐々に回復してきております。一方、中国では、公共事業を始めとした景気刺激策や金融緩和により、いち早く経済回復を見せております。

医療面におきましては、国内では、病院の財政悪化、病院・診療科の統廃合、地域医療再生に対する財政支援を含む補正予算の一部凍結など、医療機関の経営は厳しい状況が続いておりますが、新政権のもと、これまでの医療費抑制政策を転換し、質の高い医療・介護サービスを効率的かつ安定的に供給できる体制づくりに着手し、具体的には、地域医療や、救急、産科、小児科などの医療提供体制の再建などの検討を行うとされております。また、欧米先進国でも医療費抑制と制度改革に取り組んでおり、米国では、無保険者の解消を目指す医療改革の法案成立が進められております。一方、中国では、全国の都市農村で均一な医療サービスを提供できる体制を目指した医療制度改革が推進されています。

このような状況の下、当社グループにおきましては、国内では全自動免疫測定装置HISCLE-2000i用検査試薬のラインアップとして、腫瘍マーカーとB型肝炎の検査試薬を発売し、免疫検査分野の拡充を図りました。

一方、海外では、ベネルクス（オランダ、ベルギー、ルクセンブルク）を担当する現地販売代理店2社を完全子会社とし、平成21年4月から新体制で販売・サービスを開始いたしました。これにより、多様な課題を抱える医療機関へのソリューションを直接お届けする提案型販売を一層強化することができました。

国内販売につきましては、厳しい市場環境の中、主力の血球計数分野は前年同期売上高を若干下回りましたが、新型インフルエンザの流行により、インフルエンザ検査キットであるポクテムが伸長し、国内売上高は17,656百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

海外販売につきましては、販売・サービス体制の整備、ソリューション提案を進めてまいりました結果、検体検査試薬が伸長し、各国現地通貨ベースでは概ね順調に推移いたしました。しかしながら、対主要通貨での円高の影響による大幅な減収要因があり、当社グループの海外売上高は38,086百万円（前年同期比3.3%減）、構成比68.3%（前年同期比1.4ポイント減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は55,743百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は7,138百万円（前年同期比3.0%増）、経常利益は7,026百万円（前年同期比3.4%増）、四半期純利益は4,317百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

所在地別業績につきましては、次のとおりであります。

#### ① 日本

主力の血球計数分野は前年同期売上高を若干下回りましたが、新型インフルエンザの流行により、インフルエンザ検査キットであるポクテムが伸長し、売上高は18,531百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

利益面につきましては、グループへの輸出売上が円高の影響により大幅に減少し、営業利益は1,544百万円（前年同期比60.1%減）となりました。

#### ② 米州地域

米国では、直接販売・サービス体制の強化に注力し、顧客の要望を満たすソリューション提案が浸透した結果、現地通貨ベースでの売上が伸長いたしました。しかしながら、中南米での売上減少と円高の影響による減収要因があり、米州全体では、売上高は11,363百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

利益面につきましては、原価率の低減により、営業利益は1,167百万円（前年同期比111.2%増）となりました。

#### ③ 欧州地域

ベネルクスにおける代理店買収による直接販売・サービス体制への移行による売上増加、中東、フランス、イギリスでの売上伸長により、現地通貨ベースでは血球計数分野を中心に売上が好調に推移したものの、円高の影響による減収要因があり、売上高は17,725百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

利益面につきましても、現地通貨ベースでは好調に推移いたしました。円高の影響により、営業利益は2,618百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

#### ④ 中国

血球計数分野における上位機種を中心に検体検査機器売上が伸長し、売上高は5,382百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は1,263百万円（前年同期比160.6%増）となりました。

#### ⑤ アジア・パシフィック地域

現地通貨ベースでは東南アジア等の売上が好調に推移したものの、円高の影響による減収要因があり、売上高は2,740百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

利益面につきましては、原価率低減、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は532百万円（前年同期比62.5%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて144百万円減少し、118,377百万円となりました。この主な要因は、投資その他の資産が1,462百万円減少したこと、現金及び預金の増加や受取手形及び売掛金の減少により流動資産が937百万円増加したこと等によるものであります。

一方、負債合計は、支払手形及び買掛金、短期借入金が減少したことなどにより3,068百万円減少し、35,601百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて2,924百万円増加し、82,775百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が2,987百万円増加したこと等によるものであります。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.8%から2.5ポイント上昇して69.3%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より4,108百万円増加し、13,519百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

#### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は、10,640百万円（前年同期比2,457百万円増）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が7,051百万円（前年同期比1,435百万円増）、減価償却費が3,309百万円（前年同期比441百万円減）、売上債権の減少額が5,108百万円（前年同期比2,182百万円増）、仕入債務の減少額が2,846百万円（前年同期比2,529百万円増）、法人税等の支払額が1,478百万円（前年同期比1,339百万円減）となったこと等によるものであります。

#### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は、2,504百万円（前年同期比5,111百万円減）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が1,749百万円（前年同期比4,800百万円減）となったこと等によるものであります。

#### <財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は、3,648百万円（前年同期は3,773百万円の収入）となりました。この主な要因は、短期借入金の純減少額が1,514百万円（前年同期は6,485百万円の純増）となったこと及び配当金の支払額が1,329百万円（前年同期比101百万円減）となったこと等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期連結業績につきましては、中国での売上拡大等により、売上高は前回予想を上回る見込みであります。また、利益面でも、経費の抑制による販売費及び一般管理費の減少等により営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回ることが見込まれますので、平成21年5月11日に公表いたしました通期連結業績予想数値を、売上高117,000百万円、営業利益15,000百万円、経常利益15,000百万円、当期純利益9,200百万円に修正いたしました。

なお、第3四半期以降の業績予想の算定にあたりましては、当初の想定為替レート「対米ドル95円、対ユーロ125円」を、それぞれ「対米ドル90円、対ユーロ130円」に修正しております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1) 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2) 税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・ 工事契約に関する会計基準の適用

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した請負契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる請負については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の請負については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,529	9,458
受取手形及び売掛金	28,225	32,101
有価証券	110	104
商品及び製品	13,782	13,331
仕掛品	1,315	1,252
原材料及び貯蔵品	3,661	3,757
その他	8,337	8,146
貸倒引当金	△402	△530
流動資産合計	68,559	67,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,086	16,476
その他（純額）	20,098	20,135
有形固定資産合計	36,184	36,612
無形固定資産		
のれん	1,623	1,097
その他	4,457	4,174
無形固定資産合計	6,081	5,272
投資その他の資産	7,551	9,014
固定資産合計	49,817	50,899
資産合計	118,377	118,521
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,429	11,075
短期借入金	4,638	6,149
未払法人税等	2,379	948
賞与引当金	2,549	2,506
役員賞与引当金	61	140
製品保証引当金	140	150
その他	11,851	12,473
流動負債合計	31,049	33,444
固定負債		
長期借入金	3	5
退職給付引当金	526	224
役員退職慰労引当金	160	196
その他	3,862	4,799
固定負債合計	4,552	5,226
負債合計	35,601	38,670

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,705	8,685
資本剰余金	13,645	13,623
利益剰余金	62,108	59,120
自己株式	△197	△196
株主資本合計	84,261	81,233
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	92	△44
繰延ヘッジ損益	21	—
為替換算調整勘定	△2,388	△2,006
評価・換算差額等合計	△2,274	△2,050
新株予約権	692	577
少数株主持分	95	89
純資産合計	82,775	79,850
負債純資産合計	118,377	118,521

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	56,497	55,743
売上原価	20,617	20,145
売上総利益	35,879	35,598
販売費及び一般管理費	28,952	28,459
営業利益	6,927	7,138
営業外収益		
受取利息	63	57
受取配当金	27	26
投資不動産収入	194	193
その他	139	218
営業外収益合計	425	495
営業外費用		
支払利息	213	128
持分法による投資損失	15	30
投資不動産維持費	79	81
為替差損	207	301
その他	42	66
営業外費用合計	558	607
経常利益	6,794	7,026
特別利益		
固定資産売却益	17	47
貸倒引当金戻入額	17	2
その他	—	1
特別利益合計	34	51
特別損失		
投資有価証券評価損	562	—
固定資産除売却損	308	25
たな卸資産評価損	341	—
その他	1	—
特別損失合計	1,213	25
税金等調整前四半期純利益	5,615	7,051
法人税、住民税及び事業税	3,234	3,272
法人税等調整額	△1,137	△544
法人税等合計	2,096	2,727
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7	6
四半期純利益	3,526	4,317



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,615	7,051
減価償却費	3,751	3,309
売上債権の増減額 (△は増加)	2,925	5,108
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△914	△249
仕入債務の増減額 (△は減少)	△317	△2,846
その他	9	△203
小計	11,070	12,170
利息及び配当金の受取額	85	73
利息の支払額	△156	△126
法人税等の支払額	△2,817	△1,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,182	10,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,549	△1,749
無形固定資産の取得による支出	△744	△1,107
その他	△321	352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,615	△2,504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,485	△1,514
長期借入金の返済による支出	△30	△42
配当金の支払額	△1,431	△1,329
その他	△1,250	△762
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,773	△3,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	△105	△378
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,234	4,108
現金及び現金同等物の期首残高	9,679	9,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,913	13,519

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「ヘルスケア事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア・パ シフィック (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対 する売上高	17,959	12,055	19,183	4,441	2,857	56,497	—	56,497
(2)セグメント間 の内部売上高	16,739	0	320	2	98	17,162	(17,162)	—
計	34,699	12,056	19,504	4,444	2,955	73,659	(17,162)	56,497
営業費用	30,828	11,503	16,632	3,959	2,627	65,552	(15,982)	49,569
営業利益	3,870	552	2,871	484	327	8,107	(1,179)	6,927

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア・パ シフィック (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対 する売上高	18,531	11,363	17,725	5,382	2,740	55,743	—	55,743
(2)セグメント間 の内部売上高	13,750	1	269	2	71	14,095	(14,095)	—
計	32,281	11,364	17,995	5,385	2,811	69,838	(14,095)	55,743
営業費用	30,737	10,197	15,377	4,121	2,279	62,712	(14,107)	48,604
営業利益	1,544	1,167	2,618	1,263	532	7,126	12	7,138

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	米州	欧州	中国	アジア・パシフィック	計
I 海外売上高（百万円）	12,084	19,217	4,441	3,652	39,396
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	56,497
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	21.4	34.0	7.8	6.5	69.7

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	米州	欧州	中国	アジア・パシフィック	計
I 海外売上高（百万円）	11,397	17,749	5,382	3,557	38,086
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	55,743
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	20.4	31.8	9.7	6.4	68.3

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

記載を省略しております。